

現在お使いいただいている各SACOMシステムのバージョンについて

SACOMシリーズをご利用のお客様へ

現在弊社より提供しております、SACOMシリーズ(補償積算システム)の最新バージョンは次のとおりです。

システム名	バージョン
SACOM_S(総括表・建物移転料算定システム) [九州版]	(2.22)
SACOM I (木造補償積算システム)	(4.02)
SACOM II (非木造補償積算システム)	(3.63)
SACOM III(工事損害調査システム)	(3.62)
SACOM III J(事後調査算定システム)	(1.52)
SACOM IV(立竹木・工作物・動産補償積算システム) [中国版]	(2.83)
SACOM IV(立竹木・工作物・動産・通常損失補償積算システム) [九州版]	(6.97)
SACOM IV(立竹木補償積算システム) [関東版]	(2.63)
SACOM IV(立竹木・工作物・動産・移転雑費補償積算システム) [沖縄版]	(2.22)
SACOM IV(立竹木補償積算システム) [北海道版]	(2.23)

2019.9.17 更新

バージョンアップ資料でご案内している通り、SACOMシステムのバージョンアップでは機能の追加に加えて不具合の改善も行っております。

バージョンアップ内容をご確認の上、早めのバージョンアップ作業をお願いいたします。

なお、上記[バージョン]がお手元のバージョンアップ CD と異なるシステムについては、現在インターネットを通じた最新バージョン取得機能のみでのご提供となっております。ご迷惑をおかけして、誠に申し訳ありません。

最新バージョン取得の変更点について

「最新バージョン取得」のみ対応しているシステムの変更点について

各システムについて、CD配布バージョンより変更(修正)した内容は以下のとおりです。

SACOM_共通

- ・ 環境によって行コピーや棟コピー等でエラーが発生してしまう現象を修正しました。
- ・ 2019年8月のWindowsUpdateにより、システムが起動しなくなる現象に対応しました。

SACOM_II(非木造補償積算システム)

- ・ 廃棄物排出量算出表について、S造(LGS造)の有価材の摘要欄根拠式が間違っている不具合を修正しました。
- ・ 内訳書入力で複数行のコピー・貼付時に、数量計算書部分の内容がコピーされない不具合を修正しました。
- ・ 統計値算出について、階層率を利用して統計値を算出できない不具合を修正しました。

SACOMIV(立竹木・工作物・動産・通常損失補償積算システム) [九州版]

- ・ デジタル単価読込の[用材林の山元価格]の設定に関わらず必ず[山元立木価格算出表]を採用して読込されてしまう不具合を修正しました。
- ・ 設計、工事監理業務報酬額の算定方法の調整をしました。
- ・ [管理程度補正判定表]印刷で、平成31年度に追加された林令範囲が考慮されていない不具合を修正しました。
- ・ 現場合成単価更新時に、割増処理を行った単価について[課税対象単価]が正しく計算されない場合がある不具合を修正しました。
- ・ 移転雑費補償額算定表で、一部の項目名に誤字がある不具合を修正しました。また、設計工事業務量算出表で空白を表す“－”が罫線と重複する場合がある不具合を修正しました。

SACOMIV(立竹木・工作物・動産補償積算システム) [中国版]

- ・ 平成31年度(令和元年)からの、用材林の管理程度補正率の林令範囲追加に対応しました。

SACOMIV(立竹木・工作物補償積算システム) [関東版]

- ・ 現場合成単価更新時に、割増処理を行った単価について[課税対象単価]が正しく計算されない場合がある不具合を修正しました。
- ・ 立竹木補償額算定書について、消費税額の項目名が様式と異なる不具合を修正しました。

SACOMシリーズをご利用のお客様へ(九州地区)

例年、(社)日本補償コンサルタント協会より配布される[デジタル単価 CD]が到着する時期に合わせて単価を読込できるよう、SACOM システムのバージョンアップを行っております。

平成31年度の(デジタル単価対応バージョン)は

令和元年5月9日(木)に発送しております

新年度の[デジタル単価]を読込される場合は、必ず SACOM システムをバージョンアップした後に読込処理を行ってください。

まだお手元にバージョンアップ CD が届いていない場合は、お手数ですが最新バージョン取得機能でバージョンアップを行っていただくか、弊社までご連絡いただくようお願い申し上げます。

最新バージョン取得の変更点について

・「最新バージョンの取得」機能について

インターネットに接続できる環境のコンピュータでは、CDからのインストール作業を行わなくてもシステムをバージョンアップすることができます。

システムを起動して[情報]－[最新バージョンの取得]から最新のバージョンにバージョンアップしていただけます。

※最新バージョンの取得の場合は既存システムの削除は必要ありません。